

D分科会 テーマ④財務分析

運営委員：秋 元 雅 則
山 本 博 幸

今回のD分科会「財務分析」は、初めに例年通り参加者の計算書への実務での関係度合をお聞きし、計算書をご覧になっていない方もいましたので、資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表の財務三表の簡単な説明を行いました。その後、関係比率、構成比率を説明してから人件費比率等個々の比率の意味と重要性を説明しましたが、本年は分析方法の意味、特に偏差値の分布曲線における自校の位置の意味するところを説明しました（ポジション）。また、日本私立短期大学協会発行の「財務分析集計結果」と日本私立学校振興・共済事業団発行の「今日の私学財政」との比率計算の違いも説明しました。短大協会の財務分析集計結果の利用ということをアピール出来たとも思います。

後半は本研修会独自の財務分析の演習へと進みました。今回は例年より演習時間を増やし、消費収支計算書の関係比率では全国対比のほか規模別を演習しました。また、構成比率でも同じように全国と規模別も行いました。貸借対照表においては全国と法人類型別も行い、量的にも多かったと思います。参加者には厳しい量かと思いましたが、地区別をも積極的に演習していた方も多く、全体的にレベルは高かったかと思えます。

最後に行ったキャッシュフロー計算書からの分析は簡単な説明で終わりました。これは、平成24年3月に日本私立学校振興・共済事業団から精緻化された「定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分」の説明が細くなり、演習方式で行うと時間がかかり必要となるので、短時間での説明となりました。